

競争政策と 共通運賃制度の課題

慶應義塾大学 中条潮

2003年2月10日

@運輸政策コロキウム

1. 基本的課題

**消費者選択・競争による効率改善を
重視するか**

VS

共通運賃の便利さを重視するか

都市鉄道における競争は可能か？

(競争しない事業者ならば
一元化したほうがマシ)

2. いくつかの留意点

- (1) カードの共通性 ≠ 運賃の統一
- (2) 補助金の正当性
- (3) 自動車交通からの転換可能性

(1) カードの共通性 ≠ 運賃の統一性

＝競争意識の欠如

- ☆ **競争市場ならば、乗り継ぎ割引や共通化は自動的に実施させるはず**
- ☆ **共通カードにしない理由は結局のところ都市鉄道の独占力の問題**

(2) 補助金の正当性

- 共通運賃や共通カードの導入は、それだけでは補助金導入を正当化しない。
- 減収分は便益を受ける利用者が負担すべきもの

(3) 自動車交通からの転換

- **悲観的 (社会的受容性は高いが)**
- **環境コストを自動車に課すほうが効果的**

3. 都市鉄道における競争の可能性

- (1) 競争の奨励
- (2) バスの自由化
- (3) 部分上下分離・新規参入の促進